

発行所 茨城県厚生連
水戸協同病院
〒310-0015
水戸市宮町3-2-7
TEL 029(231)2371
http://www.mitokyo-hp.jp/

発行人 平野 篤
編集 広報委員会

水戸協同病院

皆さまと
病院を結ぶ
情報誌

すまいるみと

年頭のご挨拶

総合病院 水戸協同病院
病院長 平野 篤



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
2009年は当院にとってまさしく心機一転の年です。

今年のテーマは「全員参加型の病院運営」です。医師、看護師だけでなく全ての職員が一致団結して病院の運営に参加することです。言ってみれば当たり前ですが、一人では何も変わらない、変えられないと考えがちです。でも皆が他人任せでは、はたしてこの変革の年を乗り越えられるでしょうか。今の日本社会も同じです。個人が努力しても何も変えられないと思いがちです。しかし個々の思いが連鎖して連鎖すれば、小さな波も大波となり、やがてうねりとなって時代を変革できます。私が申し上げたいのはまずは個



人の向上心が大切であるということです。自分の考えに共感してくれる仲間はずいぶんいます。職員一人一人が当院をより良く発展させるために少しずつでも努力し、その思いが結集すれば、この変革により患者様にとって優しく暖かい、信頼できる素晴らしい病院が生まれると確信しております。

筑波大学との連携について

当院は本年4月に「筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター」を設置し、より幅広く、域医療教育センター」を置き、より幅広く、詳しく診療できる病院に生まれ変わります。この試みは全国初の国立大学と一般病院の連携であり、他の地域からも注目されております。成功すれば全国的な問題になっている、地域の医師不足を解消する手立てになるかもしれません。水戸地域のみならず、県央、県北の地域医療充実のために必要なものという理念で取り組んでいきたいと思っております。

新診療体制について

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの開設に伴い、大幅に常勤医師が増員されます。新たに循環器内科、呼吸器内科、総合診療内科、代謝内分泌内科、リウマチ膠原病内科、腎臓内科、消化器外科、脳神経外科、眼科、麻酔科などの医師が筑波大学から派遣されます。現体制の診療科と協力し最良の医療を提供できますよう努力致します。これまでどおり同じ診察券、同じ窓口で受診できます。詳しくは各科診察予定をご覧下さい。コンセプトはプライマリケアを重視し、早期診断、早期治療です。各診療科が連携した機能的なチーム医療を実践すること。地域の医療機関と連携を密にして市民病院的な敷居の低い、誰もが気軽に受診できる病院になることです。

施設整備について

昨年は本館1階外来の改修により、診察室のプライバシー化を図りました。8月よりオーダーリングシステム(通称COSMOS)が稼働し、皆様の受付や検査、お薬の処方などもより迅速

に行えるようになりました。医療機器の整備も進めています。既に最新型のヘリカルCT(64列)を導入しました。これまでに発見できなかった微少な病変まで感知できる素晴らしい機器です。胃カメラなどの内視鏡システムも最新のものに更新し経鼻式のファイバーも導入しました。より苦痛の少ない検査を目指していきます。骨密度の測定装置も最新鋭のものに変わっております。さらに4月までに血管造影装置の最新機種を導入予定です。心筋梗塞や不整脈など循環器領域だけでなく、脳神経外科領域の検査治療も可能になります。また眼科の三次元眼底画像撮影装置(3DOCT)も導入予定です。これは糖尿病性網膜症などの眼底の病変の診断に非常に有用な機器です。これらを駆使し診療レベルの向上に努めて参ります。また昨年4月から病院敷地内を全面禁煙とさせていただきます。これは皆様の受動喫煙の問題を深刻に考える必要があるためです。禁煙外来も開始しましたのでタバコをやめられない方はぜひご相談ください。

アクセス・駐車場について

昨春、病院前道路の対面交通も完成し、千波湖方面からも、旧50号線からもアクセスが可能になりました。また透析患者様の送迎、病院と水戸駅を結ぶバスも運行しておりますのでどうぞ御利用ください。ご迷惑をおかけしている駐車場の問題ですが、長年ご利用いただきありがとうございました。駐車スペースは老朽化だけでなく、入庫できないワゴンタイプの車が増加したこともあり閉鎖させていただきました。これは予定されている棟の新築工事(手術室・リハビリ室・健康管理センター新設)に向けて取り壊す予定になっております。当面隣接する市営駐車場を割引サービスでご利用いただきたいと思っております。

職員募集について

来年度のセンター設置に向けて、職員の募集を行っております。特に看護師で新しい形の教育病院で仕事をしたいと思われる方、ぜひお待ちしております。一緒に理想の病院を創りましょう。水戸協同病院庶務課までお問い合わせください。引き続き地域の皆様の健康増進に役立てるような病院作りを進めていきますので、どうぞよろしくお願致します。

新年を迎えて



看護部 柏 富代

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、新春早々病院前の道路が対面交通となりアクセスがより一層便利になりました。そして念願のオーダーリングシステムの稼働、総合診療部診察室のプライバシー保護のための改装とますます診療体制やアメニティの充実が図れました。又、2009年4月からの筑波大学附属病院・水戸地域医療教育センターの開設に向けての準備とめまぐるしい変革の年度でもありました。

社会情勢や自然界においても変動が見られるなか、医療行政や看護師確保問題など、医療を取り巻く環境の厳しさを痛感しております。

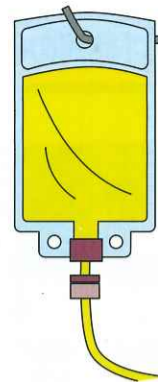
今回、地域へ戸別訪問をする機会があり医療に対するさまざまな思いや、暖かい心に触れることができました。私たち医療に関わる専門職と地域の皆様と病院に寄せる信頼関係がもっとも大切であることを更に実感している所です。

今後も地域に根ざし、何より信頼される医療・看護を目指し、出会い、心のふれあいを大切に、職員ひとり一人がいっき品質の高い看護が提供できるよう、尚一層努力を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願致します。

最新鋭冠動脈CT

導入

平成20年5月から



循環器内科 黒田 裕久

冠動脈CTとは最新鋭のCT装置を使用し心臓に造影剤を送る冠動脈の病変を見つける検査です。

この検査の最大の利点は、一般の点滴と同じように静脈に短い針を刺すだけなので外来通院で行え、

およそ15分で終了することです。実際の撮影時間は10秒程度です。

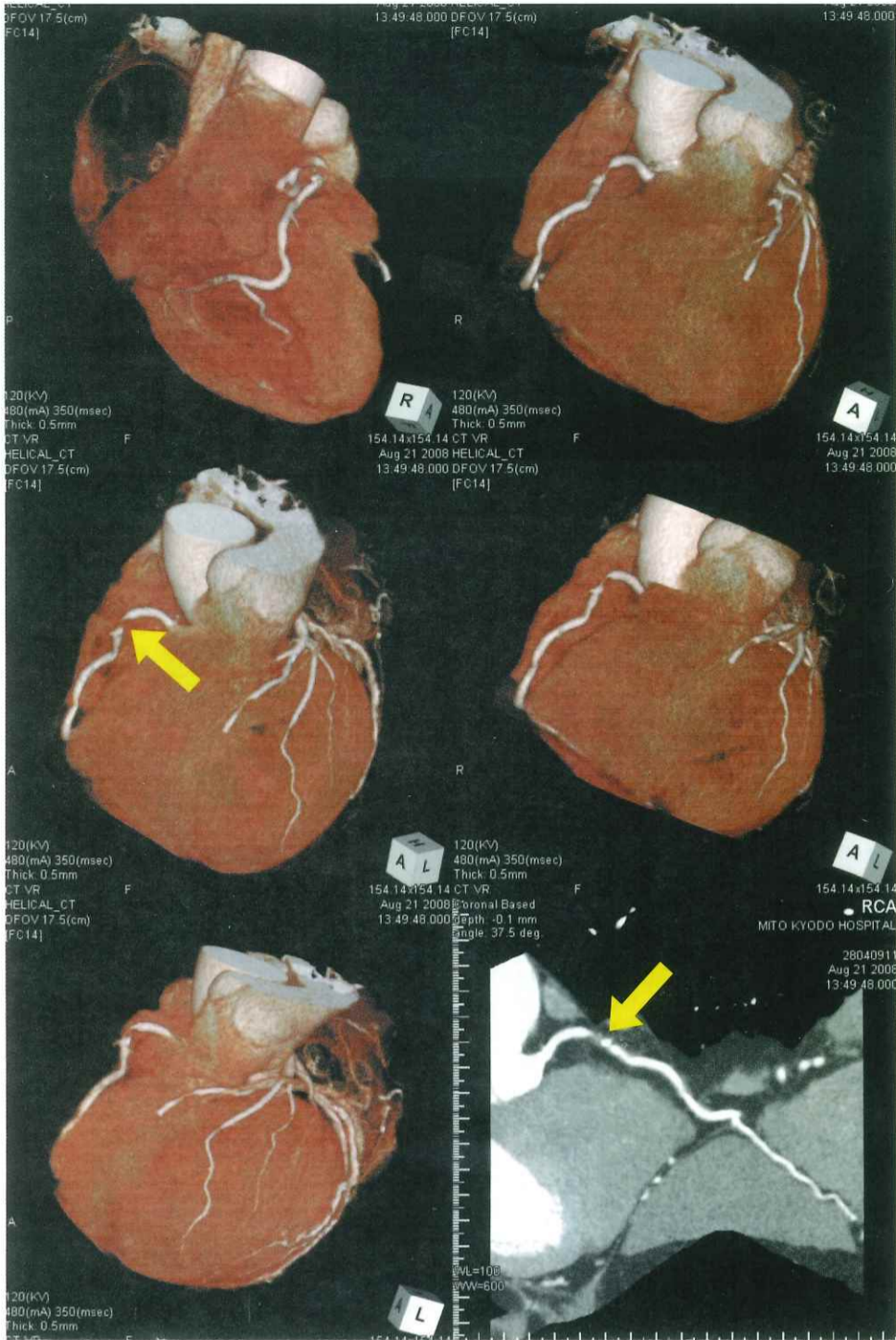
これまでの冠動脈造影検査は、多くの場合入院が必要で、動脈から管を挿入するため長時間の安静が必要でした。また心臓のそばまで管を入れるので、話を聞いただけで恐怖心から検査に踏み込めない方もいました。

あえて欠点をあげれば約20秒間の息止めが必要のため呼吸機能が悪い方には向かないこと、石灰化と言って血管が極度に硬くなって

いる方は評価が困難なことなどです。

なお、従来の冠動脈造影検査と同様に「造影剤」を注射するためアレルギー体質の方はご相談ください。

冠動脈疾患は狭心症や心筋梗塞の原因となり発症すると生命かわることもありえます。癌と同様、早期発見早期治療が大切です。なお、当院のような機器は県内では10病院のみしか使われておりません。



の抱負

眼科科長 矢部美香子



医師不足など医療問題が毎日のように取り沙汰されている現在ですが、私自身の専門を活かして、少しでも地域医療に貢献できるように頑張りたいです。

医事課 高橋寿博



三度目の年男を迎えて、未だ年齢に恥じないだけの責任能力や落ち着きが身につけているかはなはだ疑問です。今年こそ人間的には公私共に年相応の大人力を身に付け、太り気味の体格は実年齢より若くなれるようがんばりたいと思います。

放射線部 斎藤裕香



今年の目標は、マンモグラフィ撮影認定技師の資格取得です。また、MRIや来年度から導入される新しいアンギオ装置の操作方法を覚え、どんな検査にも対応できる技師になりたいと考えています。

看護部 桶田 郁



水戸協同病院に配属になり、はや1年。あっという間でした。まだまだ新人なので、諸先輩方のご指導をいただき、日々成長していきたいと思っています。公私ともに充実した1年になりますように…。

医事課長 吹野陽一



私が水戸協同病院にて医事課長という役職に就いて約10ヶ月となります。昨年はオーダリングシステムの稼働をはじめ様々な改善努力が多々行われた激動の年でありました。今年には筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターの設置も控えております。4度目の年男を迎えるにあたり、私もますます身を引き締めて医療事務という側面から地域医療への貢献に努められるよう邁進する所存です。

看護部 鷺 真琴



看護師の資格取得後、当院に就職して16年。職場を変えることなく働き続けられたのは、仲間の存在だと思う。同じ資格をもって同じ目標に突き進む仲間の存在は、掛け替えのない物。そんな仲間と笑顔で患者様に接するため、笑顔の絶えない日々を送りたい。

看護部 菊池美恵子



昨年秋、袋田で見た紅葉がとてもきれいでした。しばらく感動することを忘れて働いていた自分に気づいた瞬間でした。やっと新しい病棟にも慣れ、今年は少し余裕を持って、習い事でも始めてみようかと思っています。

くれないに なりし紅葉の 秋の滝
母に見せたく 想うこの頃 (母 道子作)

水戸協同病院スタッフが勝田マラソンに出場

ひたすながの風になる



1月25日(日)に開催された
勝田全国マラソン大会にスタッフ4名が出場し、
全員が42.195kmを完走しました!!!



田中 健太
(整形外科医師)
皆さんが練習の時
から応援してくだ
さったので、いい
結果を残すことが
できました。



野口 裕史
(整形外科医師)
田中先生の指導の
下、マラソンを完
走することができ
ました。ありがとう
ございました。



鈴木 恒
(リハビリ部)
初めて自分で自分
を褒めたいです。



内田 誠一
(検査部)
みなさんのおかげ
で完走できました。
ありがとうございました。

水戸協同病院は今後も走り続けます！

看護師急募

筑波大学附属病院
水戸地域医療教育センター

2009年4月

水戸協同病院にオープン



- 給与/240,000円～(夜勤などの諸手当等含む)
専門性・経験年数を考慮した優遇あり
 - 勤務/3交替制(一部2交替導入予定)
 - 待遇/住宅手当、通勤手当、賞与(年二回)、厚生年金、雇用保険
 - 休日/4週7休(平成21年4月から予定)
夏期休暇、年末年始、年次有給休暇あり
- パート・夜勤専従同時募集中



【お問い合わせ】

総合病院 水戸協同病院

〒310-0015 茨城県水戸市宮町3-2-7
TEL 029-231-2371(代) 庶務課まで
メールアドレス shomu310@abox.so-net.ne.jp
ホームページ http://www.mitokyodo-hp.jp/



オーダーリングシステム 稼動後4ヶ月目に あたって

医事課 高橋 寿博

当院においてオーダーリングシステム「Cosmos」の稼動が開始してはや4ヶ月が経過いたしました。

ここで改めて、オーダーリングシステムとは一体どのようなものなのかを簡単ながら説明させていただきます。

従来、医師によるお薬の処方や検査・レントゲン撮影の指示などは院内の内線電話や伝票用紙の受け渡しによって薬剤師や担当技師に伝えられておりました。また、患者様の情報の管理についてもカルテ等の紙媒体を中心としたものでした。

しかし今年8月のオーダーリングシステムの導入により、医師の指示は病院内のネットワークシステムを通じて各部署に伝達され、患者様の診療情報等についてもこのシステムによって管理されます。これにより医師の指示は時間差を置くことなく各部署に伝えられ、また医師が患者様の情報を扱う上でも従来に比べスムーズに行えるようになります。結果として患者様の診療や検査・お薬処方の待ち時間を大幅に短縮することが可能となりました。

システム稼動開始当初には予期せぬトラブル等により診療やお薬の処方に関して長らくお待たせするといったご迷惑を患者様におかけする事態もいくつかあり、改めてこの場を借りてお詫び申し上げます。

しかしながら現在オーダーリングシステムは順調に稼動し、患者様が快適に診療をうけられる医療環境の向上に幾らかでも寄与できたかと自負しております。

新聞等の発表でご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、4月より筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターが設置されます。これに伴い当院にも多数の医師が派遣される予定であり、さらに充実した医療を地域の皆様にご提供できるかと思っております。当院ではオーダーリングシステムに続き、今後とも患者様がより満足できる様々な新体制づくりをたゆまず続けていく所存であります。



筑波大学
附属病院

水戸地域医療教育センター

Tsukuba University Hospital, Mito Medical Center

心でつながる地域医療

地域医療
への貢献

相互補完的
な連携

人材養成の
ための
教育拠点

2009年4月オープン

水戸協同病院内に開設

水戸協同病院の診療科 が充実します!

筑波大学臨床医学系の教授、准教授、講師が常勤で赴任します。

※水戸協同病院の診察券で水戸地域医療教育センターの受診もできます。

総合病院
水戸協同病院

〒310-0015 茨城県水戸市宮町3-2-7 TEL.029(231)2371
水戸協同病院ホームページ <http://www.mitokyodo-hp.jp>

水戸地域
医療教育
センター

水戸協同
病院



- 内科
 - ・総合診療科・循環器
 - ・呼吸器・消化器
 - ・代謝内分泌・リウマチ膠原病
- 外科
 - ・消化器・呼吸器・乳腺
 - ・代謝・小児
- 脳外科
- 麻酔科
- 眼科

- 整形外科
- スポーツ整形外科
- 耳鼻科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 皮膚科
- 婦人科
- 歯科口腔外科